

# 全国の先進組合を紹介します!



テーマ：特徴ある活動による組織課題への対応／航空機部品生産協同組合（三重）

## ●共同工場での航空機部品一貫生産体制の構築

### ■背景と目的

航空機部品製造分野においても近年はグローバル化が進行しており、これまでTier1（国内重工各社）の下で単工程受注（のこぎり発注）により、長年自社の得意技術を深化させてきた航空機部品製造に携わる中小企業各社は、自社以外の工程も統括して完成部品をTier1に納品できる「一貫生産体制」への変革が求められている。また、民間航空機市場は今後も伸長が見込まれており、企業を横断して製造される各種の部品を効率かつ安定的に製造するため、自動車産業の管理手法を取り入れた共同工場を立ち上げることとなった。

### ■事業・活動の内容と手法

機械加工、板金加工等の単工程スペシャリストとして、長年航空機部品製造に携わってきた中小企業各社が三重県松阪市に立地する共同工場に集結し、自社工程以外を他社と協業・補完して航空機部品の「一貫生産体制」を整備した。自動車産業の管理手法を積極的に取り入れ、複数企業に跨る各工程を効率よく部品が流れるようにするための「ライン化」に取り組んでいる。

本活動においては、平成26年度に目的（一貫生産の実現）を同じくする企業が集い、目標や事業形態などについて時間をかけてじっくり議論を重ね、各社間のベクトルを合わせることに注力した。そのうえで本活動の推進組織として平成27年4月に「航空機部品生産協同組合」を設立

し、具体化に向けた準備を開始した。平成28年度には共同工場の取得・整備を行い、同年8月より一部企業が部品加工を開始し、共同工場の整備が完了した平成29年3月に「竣工式」を執り行い、関係者にも公開した。以後、航空機部品製造に必要な現場認証の取得を進め、10月より処理塗装を含めた一貫生産を開始した。

本組合は、組合員である製造各社が共同工場の運営に関する様々な内容を協議・決定する合議機関としての役割だけでなく、対外的な窓口や共同工場の維持管理、組合員各社の従業員へのサポート等、総務的な役割を担っている。組合運営においては、組合員各社の合議制による水平的協業形態を採っており、運営ルールについては、本組合の規模・形態等から参考例がほとんどなく、本組合として規約・規程等各種ルールを自前で作成し、全組合員が一堂に会して協議・検討を重ねながら実情に即した内容に作り込みを行った。

### ■成果

目標を同じくする中小企業が集って協議・検討を行い、あるべき姿を実現するための企業集団の形態として協同組合を設立。共同工場を取得・整備し、航空機部品製造における「高効率一貫生産体制」のスタートラインに立った。組織立上げを焦らず、理念の共有、事業運営に対するベクトル合わせなど本質的な部分にじっくりと時間をかけて準備した。



## 中小機構中部からのお知らせ

### 最近の高度化事業について

高度化事業は、住工混在の解消などを図る工場団地・卸団地等の整備、アーケード・カラー舗装等の商店街整備などを行う組合等に対し、県と協調して貸付を行う制度です。単に貸付を行うだけでなく、事前に事業計画について専門的な立場から診断・助言を行います。

貸付条件は、最長20年以内（うち据置期間3年以内）、0.50%（平成30年度貸付決定分）の長期・低金利かつ固定金利または無利子です。貸付割合は原則、貸付対象事業費（資産計上されるもの）の80%以内です。貸付後の段階で生じる様々な問題の解決を支援するため、適切な専門家（企業連携支援アドバイザー）を派遣します。

他に優遇措置として、市街化調整区域への開発許可、地方税の特例措置 ①事業所税の非課税、②共同利用機械等の固定資産税の軽減、国税の特別控除があります。

高度化事業は、色々な利用の仕方があります。

まずは、一度ご相談ください。

支援の詳細はホームページをご覧ください。 [http://www.smrj.go.jp/supporter/equipment\\_loan/index.html](http://www.smrj.go.jp/supporter/equipment_loan/index.html)  
お問い合わせは、中小機構中部（地域振興課）TEL.052-205-6853